

第 13 回日本加速器学会年会インフォーマルミーティング
(ビーム物理研究会世話人会) 議事録 (案)

日時：2016 年 8 月 10 日 (水) 12:10~13:10

会場：千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場 202 会議室

出席者 (順不同・敬称略)：

坂上 和之、想田 光、野田 章、下崎 義人、渡邊 環、庄司 善彦、岩下 芳久、宮本 篤、田村 文彦、加藤 新一、全 炳俊、柏木 茂、羽島 良一、神門 正城、山本 尚人、鷲尾 方一、宮本 修治、黒田 隆之助、上坂 充、井上 峻介、菅 晃一

司会：井上

書記：菅

配布資料：

2016F-1：前回議事録

議事内容：

1. 前回議事録確認
2. 報告・審議事項
 - 2-1. 日本物理学会ビーム物理領域関連
 - 2-2. ビーム物理研究会関連
 - 2-3. 日本加速器学会関連
3. その他
 - 3-1. 若手科学者ネットワークへの参加登録について (坂上氏)
 - 3-2. 次回の総会・世話人会

1. 前回議事録確認 (資料 2016F-1)

2016年3月20日に開催された第71回日本物理学会年次大会インフォーマルミーティング(ビーム物理研究会総会)の議事録(配布資料:2016F-1)について内容確認が行われた。時間的な制約から内容の読み合わせは省略されたが、意見・コメントはなく、承認された。

2. 報告・審議事項

2-1. 日本物理学会ビーム領域関連

[大会関連]

前回の年次大会について

次回2017年次大会に向けて、前2015年次大会と今2016年次大会の講演数、過去11年間における春の物理学会での一般講演数の推移、2016年次大会における他領域との講演数の比較、講演者の所属機関別内訳、他領域との合同セッション発表件数の内訳、招待・企画・シンポジウム講演が前回総会資料より引用され報告された。前2015年次大会では133件(合同セッションを除くと72件)、今2016年次大会では127件(合同セッションを除くと80件)の講演件数であったこと報告された。前回より発表件数は減少しているように見えるが、領域代表佐々木氏より各機関代表宛の発表数増の依頼メールが功を奏し、合同を除く発表件数は増加していたことが報告された。今後も各機関において関係者による講演依頼を行うことが推奨された。また、他の領域との合同についても発表件数を増加させることが推奨された。

他領域との合同セッションについて

2016年次大会では62件(ビーム物理の寄与:31件、6つの合同セッション:SuperKEKB・BelleII・ILC、J-PARCと原子核素粒子実験、高強度レーザー・FEL・放射光、レーザー・プラズマ加速、イオントラップ・非中性プラズマ・レーザー冷却、ミューオン・中性子・陽電子)の講演件数であったことが報告された。合同セッションの新たな提案を募集中です(申込締切:2016年9月27日)。

合同セッション

- SuperKEKB・BelleII・ILC
- J-PARCと原子核素粒子実験
- 高強度レーザー・FEL・放射光
- レーザー・プラズマ加速
- イオントラップ・非中性プラズマ・レーザー冷却
- ミューオン・中性子・陽電子

招待・企画講演について

2015年次大会では1件の企画講演を実施、2016年次大会でも1件の企画講演(素粒子実験領域主催、ビーム物理共催)を実施した(以上に若手奨励賞受賞記念講演を含まず)ことが報告された。

シンポジウム講演について

2016 年次大会では主催 1 件と共催 3 件を実施したことが報告された。

若手奨励賞について

若手奨励賞の受賞者講演を素粒子実験領域が主催となり合同開催している。2016 年次大会では、1 名（永田氏）が受賞した。通例では、受賞者講演資料は KEK ドキュメントサーバーで公表されているが、今回の資料は公表されていなかった。Web 上のプログラムでは実際の申請とは異なりビーム物理領域の共催が記述されていなかったためと考えられるが、現在確認中であることが報告された。今年の応募締切は 7 月 31 日で締切済みであり、今年度から審査員が変更されたことの報告があった、

審査員：大熊氏（JASRI）、小関氏（KEK）、加藤氏（分子研）、西森氏（東北大）、宮本氏（兵庫県立大）、横田氏（量研機構）

次回大会までのスケジュール

主なスケジュールが確認された。次回の秋季大会は、素核宇が 2016 年 9 月 21 日から 24 日まで宮崎大学木花キャンパスで開催され、物性が 9 月 13 日から 16 日まで金沢大学角間キャンパスで開催される。次期秋季大会では以下のシンポジウム（共催 2 件）・企画講演（共催 4 件）がある。

シンポジウム

- J-PARC 重イオン衝突実験が拓く高密度・稀現象の物理
実験核物理領域，理論核物理領域，ビーム物理領域
9 月 21 日 13:30～17:05 SA 会場（宮崎大学）
- 原子核物理学・加速器物理学と放射性廃棄物
実験核物理領域，理論核物理領域，ビーム物理領域
9 月 22 日 13:30～17:15 SA 会場（宮崎大学）

企画講演

- FEL と古典的レーザーを融合したハード X 線レーザーのフィジビリティ
山田廣成 氏（光子発生技術研究所）
領域 2、領域 10、ビーム物理
9 月 15 日 13:30～14:00 KC 会場（金沢大学）
- レーザープラズマ軟 X 線レーザーの開発と EUV 領域の応用研究
錦野将元 氏（量研機構）
領域 2、ビーム物理
9 月 14 日 11:00～11:30 KC 会場（金沢大学）
- ILC 計画の現状とアップグレード
横谷馨 氏（KEK）
素粒子実験領域、ビーム物理

9月21日 14:30~15:10 SE会場（宮崎大学）

- Belle II/SuperKEKB commissioning detector results from the first phase of accelerator commissioning

ルウイスピーター 氏（ハワイ大学）

素粒子実験領域、ビーム物理

9月21日 16:25~16:55 SE会場（宮崎大学）

次回年次大会は、2017年3月17日から20日まで大阪大学豊中キャンパスで開催される。重要な締切日程は次の通り。

年次大会締切日

- **合同セッション申込締切：2016年9月27日**
- **招待・企画・チュートリアル・シンポジウム講演の申込締切：2016年11月4日**
- **一般講演の申込締切：2015年11月21日**

*Webのみによる受付

*従来可能だった「入会申し込み中」の状態での講演申込みは、第72回年次大会（2017年）から不可となる予定（9月号・10月号会告に掲載予定）

[領域運営関連]

執行部と事務局の確認

現領域執行部の確認が行われた。現領域執行部は今年度が任期の最終年度であるため、次期代表として羽島氏（量研機構）、次期副代表として鷲尾氏（早稲田大）が内定した。

ビーム物理研究会は、現在、会長 佐々木氏（広大）、副会長 羽島氏（量研機構）・上坂氏（東大）。

ビーム物理領域は、現在、代表 佐々木氏（広大）、副代表 羽島氏（量研機構）。

次期領域運営委員について

現領域運営委員の菅氏（阪大）の後任として、日本原子力研究開発機構 J-PARC センターの原田寛之氏が紹介され、承認された。任期は2017年4月から2018年3月までの1年間。現在の体制は次のとおり。

任期	領域運営委員
2015/4~2016/3	坂上 和之（アドバイザー）
2015/10~2016/9	井上 峻介（現）
2016/4~2017/3	菅 晃一（現）
2016/10~2017/9	今 亮（引き継ぎ中）
2017/4~2018/3	原田 寛之（本会で決定）

2-2. ビーム物理研究会関連

[研究会関連]

ビーム物理研究会・ビーム物理若手の会 2016 について

下崎氏（JASRI）より、今年度ビーム物理研究会・若手の会の企画状況等について報告があった。

企画状況

- JASRI・兵庫県立大の共催で実行委員を組織し、ビーム物理研究会・若手の会を企画している。
- 日程：2016 年 11 月 24 日（木）～26 日（土）（研究会：24 終日～25 午前、若手の会：25 午後～26 午前、施設見学：26 午後）
- 場所：Spring-8 サイト内、国民宿舎志んぐ荘を予定（宿泊場所として先端科学技術支援センター（CAST）もしくは国民宿舎志んぐ荘を検討中、参加人数や宿泊場所の設定により変更の可能性有）
- 施設見学を 26 日午後に行う予定している。見学場所として、Spring-8 はトンネル内部、SACLA は管理区域外、ニュースバルは加速器とトンネル内部を予定している。
- 発表について、公募の予定で現在申し込み可能。連絡先：beamphysics2016@spring8.or.jp
- 招待講演について、数件予定している。
- 参加費は 1000 円程度（コーヒープレイク）。
- 懇親会、その他費用は現在未定。
- 学生への旅費の補助は困難そうである。
- 問合せについても beamphysics2016@spring8.or.jp で受付中である。

[研究会運営関連]

ビーム物理研究会 会員名簿の管理について

現在のビーム物理研究会の会員名簿の管理（情報の更新）に対して、今後の対策が議論された。

議論・コメント

- メールが届かなくなった人は、人に聞くかネットで連絡先を入手して本人と連絡できないか。
- 登録変更の連絡をする人もいるが、多数の学生会員が在籍していることもあり、連絡による手動での登録変更には限度がある。
- 例えば、新年度前の毎年 3 月中に所属変更の案内を事務局から周知してはどうか。
- 不明者リストは無いか？
- 学生の不明者については、所属であった研究室に問い合わせてもよいのではないか。
- 亡くなった方はどうすればよいか？
- メールの不達者はメーリングリストからは外れるが、Web 上の名簿は更新されない。
- 不明者リストを限られた人から見えるようにしたほうがよいのではないか。
- インフォーマルミーティング等で名簿を提示してもよいのではないか？

2-3. 日本加速器学会関連

特になし。

3. その他

3-1. 若手科学者ネットワークへの参加登録について

坂上氏（早稲田大）より、5月に加速器学会から転送された、若手科学者ネットワークの活動内容・参加登録について説明があり、今後の対応が議論された。

若手科学者ネットワークについての説明と議論

- 日本学術会議若手アカデミーに若手科学者ネットワーク分科会が設置されている。
- ネットワークはシンポジウムの連絡や案内の情報交換を行う。
- 加速器学会の対応はどのようになっていたか？（若手の会が無い場合、未登録かもしれない）
- ネットワークへビーム物理研究会から何らかの案内を周知することは可能か？
- 登録人数を考慮して、領域運営員を代表でネットワークへ登録すればよいのではないか。
- 【結論】領域運営員を代表として、ネットワークへ登録を行う。

3-2. 次回の総会・世話人会

次回の総会は2017年3月17日(金)～20日(月)に開催される日本物理学会第72回年次大会（大阪大学）の会期中に行う。世話人会は2017年8月頃に開催される第14回日本加速器学会年会の会期中に行うことが確認された。

以上